

第18回 IVS NICT-TDC シンポジウム(2020年10月1日) 主催:NICT 後援:GGOS-Japan

プログラム

講演

口頭講演			Start	End	議論	講演時間(分)	議論(分)
	開会の挨拶		9:30	9:35		5	
	レガシーセッション						
1	三好 真(国立天文台)	KNIFE Kashima-Nobeyama Interferometer	9:35	9:55	10:00	20	5
2	細川 瑞彦(NICT)	鹿島VLBIグループに触発された時空計測研究	10:00	10:20	10:25	20	5
	技術開発 セッション						
3	朝木 義晴(国立天文台チリ観測所)	ALMA High-frequency Long Baseline Phase Correction Using Band-to-band Phase Referencing	10:25	10:45	10:50	20	5
	ポスターセッション						
4	長谷川 豊(大阪府立大学)	6-23 GHz 広帯域フィードアンテナの開発	11:10	11:30	11:35	20	5
5	氏原 秀樹(NICT)	広帯域アンテナの開発	11:35	11:55	12:00	20	5
	昼食						
			12:00	12:00	13:10	0	70
6	中久喜 智一(国土地理院)	石岡VLBI観測施設のVGOS対応受信機に導入した超伝導フィルタの性能調査	13:10	13:30	13:35	20	5
7	増井 翔(大阪府立大学)	広帯域円偏波分離器の開発	13:35	13:55	14:00	20	5
8	川口 則幸(国立天文台)	水蒸気ラジオメータの新校正法	14:00	14:20	14:25	20	5
	ポスターセッション						
			14:25	14:25	14:55	0	30
9	関戸 衛(NICT)	可搬型広帯域VLBIシステムとNode-Hub型VLBI方式—誤差評価と今後の課題—	14:55	15:15	15:20	20	5
	観測ネットワーク セッション						
10	今井 裕(鹿児島大学)	HINOTORI status report	15:20	15:40	15:45	20	5
11	藤沢 健太(山口大学)	大学VLBI連携の進捗報告	15:45	16:05	16:10	20	5
12	宮原 伐折羅(国土地理院)	全球統合測地観測システム(GGOS) -役割と活動-	16:10	16:30	16:35	20	5
	ディスカッション						
		今後のVLBI・測地・電波天文・計量学	16:35	16:35	17:00	0	25
	閉会の挨拶						

ポスター講演

P1	藤沢 健太(山口大学)	干渉計OTFの実験観測
P2	高橋 健(東芝ホクト電子)	Superconducting wide-band BRF for Geodetic VLBI Observation with VGOS Radio Telescope to prevent radio frequency interference
P3	亀谷 収(国立天文台水沢)	水沢10m電波望遠鏡の現状と未来
P4	小倉達也、元木業人(山口大学)	高感度短基線VLBIを用いた核融合開始直後の大質量星に付随する極小HI領域探査